

令和5年度 第2回 運営推進会議資料



株式会社日電工業

デイサービスセンター長生東

－施設紹介－

当施設は定員 18 名の地域密着型通所介護です。

長年、北消防署として地域に親しまれてきた建物をデイサービスとして改修し、バリアフリーの広々とした施設として平成 25 年 9 月に開所し、事業開始から 10 年となりました。

特徴は『生活に直結した機能訓練の実施』『プライバシーに配慮した完全個別対応の入浴』『重度化に対応した設備と職員のスキル』等です。

『生活に直結した機能訓練』については、毎日炊飯は利用者が行っています。また、現在はコロナ渦のため、中止しておりますが、平時は月 1 回の食事作りを行っています。食事作りはメニューの立案から必要な食材などをご利用者が考え調理まで行います。デイサービスで家事訓練を行った事で自宅での家事にも参加できるようになったり、役割ができた利用者もあり、目指す『活動と参加』に向けて実績が出ています。

基礎的な下肢筋力などを強化するため、エアロバイクや電動サイクル、トレッドミル、プッシュプレス、ホームジム、リカンベントバイクなどの機能訓練の機械をご用意しています。

階段昇降や気候を見ながら屋外（施設敷地内）での歩行訓練も実施しております。

『重度化に対応した設備』については、送迎車両 6 台すべてが車椅子対応のリフト及びスローパー車両であり、施設内もバリアフリーとなっています。

入浴設備にも特殊浴槽を整備し、身体状況問わず入浴サービスを安全に提供しております。

『職員のスキル』については、月 1 回施設内研修を実施しており、技術・知識の研鑽に励んでおります。



-現在のサービス状況について- 令和5年10月現在

(1) 要介護度別利用状況

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数(人)	1	3	10	12	6	2	1	35
割合	3%	9%	29%	34%	17%	6%	3%	100%

利用者の平均介護度は2.09。年々平均介護度が低くなっている。

(2) 男女別利用者状況

男性	女性
8人	27人

(3) 圏域別の利用者状況

圏域	ほんのう	ちゅうおう	もばら	みなみ	他市町村	合計
人数(人)	25	4	5	1	0	35
割合	71%	11%	14%	3%	0%	100%

地域密着型のサービスの機能を考慮し、ほんのう地域の利用者を積極的に受け入れるようになり、現在はほんのう地域の利用者が7割を超えている。

(4) 稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
延べ利用者	318	339	352	333	294	334	326	2,296
平均利用者	15.1	15.4	16.0	15.9	13.4	13.4	15.5	15.2
稼働率	84%	86%	89%	88%	58%	69%	74%	78%

8月にコロナウイルス陽性の利用者が出たため3日間休業をした。そのため8月の稼働率は低くなっている。

(5) 取引先居宅介護支援事業所

事業所名	人数	事業所名	人数
居宅介護支援事業所長生東	10	居宅介護支援事業所かしま	1
茂原訪問看護ステーション	4	居宅介護支援センター実恵園	1
ケアプランここね	2	さくら・居宅介護センター	1
ボーソーヒルズ居宅支援事業所	3	ケアプランすまいる	1
モルゲンケアプラン	2	むうみんケアセンター	1
介護老人保健施設つくも苑	1	いきいきケアサポート	1

あおばケアプランサービス	1	居宅介護支援センター光風荘	1
グッドケア居宅介護支援事業所	1	居宅介護支援センター共楽園	1
居宅介護支援事業所ぷらんどーる	1	セントケア茂原	1
ヤックスケアセンター茂原	1		

併設の『居宅介護支援事業所長生東』からの紹介率は全体の28%となっており、前年度の紹介率29%からほぼ横ばいとなっている。

居宅のケアマネジャーは3事業所以上のデイサービスを紹介し、見学などの提案の上で本人家族の意向にてサービス事業所を位置付けることになっている。

そのうえでも全体数では多くの紹介率となっている。具体的な理由として10件の内6件は家族から長生東のデイサービスを利用することを前提にケアプランニングの依頼があった。2件は病院を退院すると同時にケアプランニングの依頼がソーシャルワーカーからあったが、長生東のデイサービス利用を前提に話が進んでいた。2件は他のデイサービスを利用していたが家族とのトラブルにより2事業所の利用を経て当事業所利用1件、利用者自身のセクハラ・暴力行為により利用を断られたケース1件となっている。いずれにしても他デイサービスの紹介はしているが家族の意向で当施設の利用となっている。

取引のある事業所の事業所数は19事業所となっており今後も特定の事業所に偏ることなく多くの居宅介護支援事業所とかかわり、常に緊張感をもって事業所運営を行っていく。

(6) 総括

今年度上半期においてもコロナウィルスの影響により稼働率に影響があった。

8月に1名の陽性者がデイサービスを利用しておりその後3日間休業をした。

その後は陽性者の発生はないが5類への移行もあり、発生時の対応及び平時の予防策に関して検討を行わなくてはならない。

罹患者数が減少傾向にあり、コロナ以前の雰囲気に戻りつつある中で地域とのつながり方を様々な方向から配慮しながら考えていく時期だと考えており、下半期の課題となる。

運営報告のとおり、ほんのう地域を中心に受け入れを行い7割を超えることができた。登録利用者35名の内、独居が11名となっており施設が地域と繋がることで地域での生活を支援しやすいものとなる。

今後も地域密着施設としてどのような運営が求められているかを考え役割を果たしていく。